



「共創セミナー」を開催しました

9月27日(木)に、理数科1年生を対象に、第1回「共創セミナー」を実施しました。株式会社ワイビーエム 技術開発部 開発 G 大久保博晃 先生に、「地中熱ヒートポンプシステムの研究開発について」と題して、地中熱ヒートポンプシステムの研究開発の事例などを通して、当たり前を疑うこと、他の分野から応用すること、目的や状況を意識することといった、企業での研究開発の視点を話していただきました。

生徒の感想

- 「地中熱と地熱は同じものなのかなと思っていましたが、温度が違うことと利用の仕方が違うことがわかりました。」
- 「当たり前を疑うということは様々な分野で役に立つことだなと思いました。」
- 「課題を見つける際にどうしても短所ばかりに目が行ってしまうので、長所にも目を向けることを忘れないようにしたいです。」
- 「研究において重要な基本的な考え方を知ることができたと思う。」
- 「仕事というとサービスで人に直接的に貢献するようなものを思い浮かべていたが、研究開発のように人のために社会の抱える課題を改善するという仕事もあるということを知り、視野が広がったように思う。」



「平成30年度第13回九州地区SSH担当者交流会」が開催されました

10月9日(火)、10日(水)に、本校を会場にして、「平成30年度第13回九州地区SSH担当者交流会」が開催されました。これは、九州地区のSSH指定校間の交流を通じて、よりよいSSH事業の在り方についての相互啓発を図ることを目的として、例年行われているものです。

九州地区の全23校の担当の先生方により、全校体制での課題研究の指導方法について、事例発表や情報交換がなされました。



「共創セミナー」を開催しました

10月18日(木)に、理数科1年生を対象に、第2回「共創セミナー」を実施しました。NPO法人唐津環境防災推進機構 KANNE 事務局長 藤田和歌子 先生に、「虹の松原の再生保全活動について」と題して、虹の松原の環境保全の概要とそれに向けた団体の取り組み、地域の連携など社会課題への取り組みを話していただきました。



生徒の感想

- 「虹の松原はずっとあるものだと思っていたが、人の手が加えられないと病気になるてしまい、松原がなくなってしまうことがわかりました。」
- 「この活動の発端は一市民の発言だと知って主体性や行動力をもって頑張ろうと思いました。」
- 「無関心を捨て、あきらめないことが大事だとわかりました。」
- 「塩害を防いでいる松原の裏側では、いろいろな人の努力や活躍があるのだと思った。また、努力している人たちだけでなく、地域住民の協力も不可欠であると思った。」
- 「バイオマス発電や、松の葉を固めてコンクリートみたいなものを作れないかなと、自分にできることを考えるきっかけとなりました。」